

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

宇和島市長 岡原 文彰

市町村名 (市町村コード)	宇和島市 (38203)
地域名 (地域内農業集落名)	石応白浜地区 (白浜・石応第1・石応第2・小浜・小浜本谷・小池・平浦・蕨)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年2月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

本地域は海に面した傾斜地を利用した柑橘専作地帯である。農業従事者の平均年齢は65歳を超えている。平地は少なく急傾斜地も多いため、1人あたりの耕作面積は1ha未満と狭小である。そのため今後、高齢化に伴う耕作放棄地の急増が懸念される。現在、南予用水事業を活用したスプリンクラーによる共同防除を行っているが、施設の効率的な運用を図るためにも、現状の農用地を維持していくことが急務となっている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

地形の特性を考えると、本地域は今後も柑橘専作の営農活動を続けていくのが最適と思われる。傾斜地の柑橘栽培において、スプリンクラーは最も効率的な営農施設であると思われるので、これを最大限、有効活用するために耕作放棄地の増加を地域ぐるみで阻止する方策を検討する。既に移住者等、地域外からの新就農者を受入れているが、今後さらに多くの担い手を迎え入れるための条件整備に努める。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	51 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	51 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。  
保全・管理等が行われる区域については、具体的な取組が計画された場合に設定していく。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

## 3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

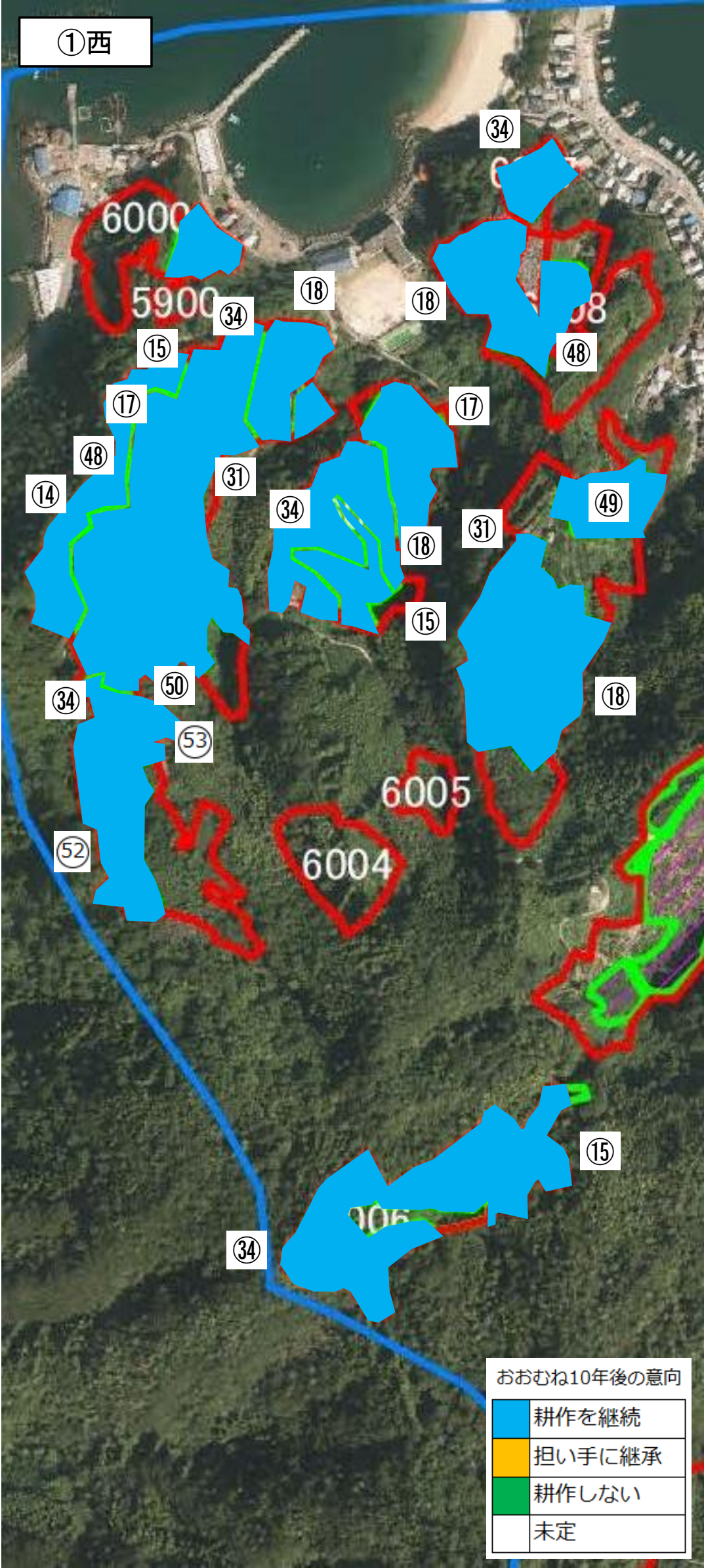
(1) 農用地の集積、集約化の方針
共同施設のある農地を優先して担い手に集積する。その際、借り手の未収益期間を短くするため可能な限り成木園を斡旋する。園主が管理できない場合は地域が共同で管理し、担い手が見つかるまで農地を維持する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
現状、農地の管理・斡旋等は用水組合や、中山間地域等直接支払制度の組織が中心となって行っている。農地中間管理機構の利用は、今後検討する。
(3) 基盤整備事業への取組方針
大型の基盤整備事業は、地形の制約と高齢化した農業者の経営負担の面から、取組みは困難。1.5～2ha規模の柑橘専作の営農を主体に、規模に見合った事業を取り入れていく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
これまで地域おこし協力隊や、行政機関の移住施策等による担い手候補を受け入れてきたので、今後も利用していく。ただし定着率は、地元のつながりから紹介されて入ってきた農業の方が高いので、地域からの情報発信や勧誘活動等にも力を入れていく。JAも担い手育成に関する事業を始めたので、今後連携していきたい。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
耕作放棄地については主に、用水組合や中山間地域等直接支払制度の組織で管理していくが、JA等のサービスで、利用できそうなものがあれば利用を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

### 【選択した上記の取組方針】

①イノシシ等の侵入を防ぐための電気柵(既設)の維持管理や、新たな防護柵等の設置・狩猟免許取得のための支援  
⑦災害後、速やかに復旧工事に取りかかることができる体制を整備する。具体的には、小型重機の購入やオペレーターの育成を検討する。  
⑧スプリンクラー共同施設の維持管理に最大限の資源(人、資金)を投入する。



耕作者（石応白浜）

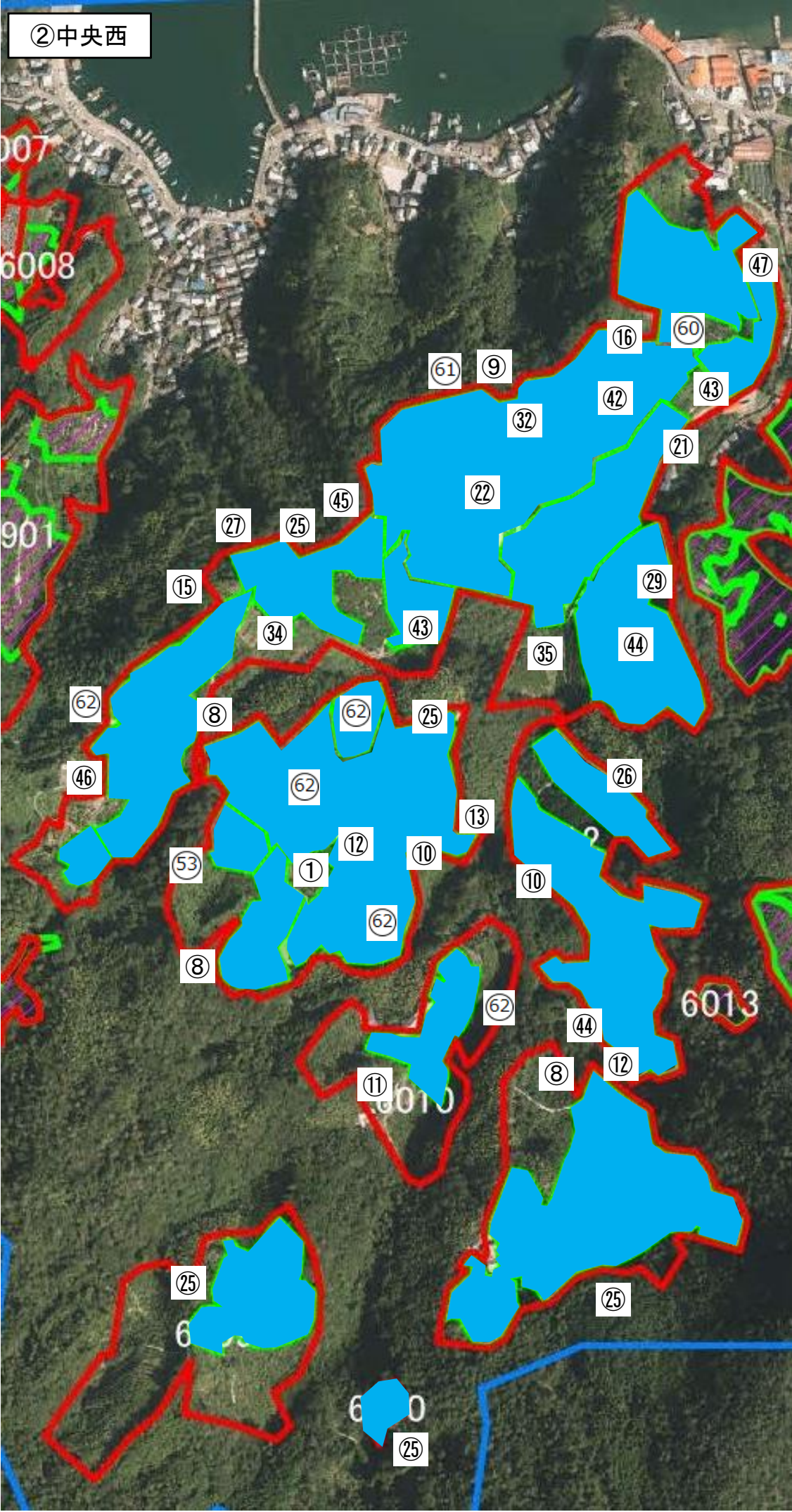
No.	氏 名
①	A
②	B
③	C
④	D
⑤	E
⑥	F
⑦	G
⑧	H
⑨	I
⑩	J
⑪	K
⑫	L
⑬	M
⑭	N
⑮	O
⑯	P
⑰	Q
⑱	R
⑲	S
⑳	T
㉑	U
㉒	V
㉓	W
㉔	X
㉕	Y

㉖	Z
㉗	A'
㉘	B'
㉙	C'
㉚	D'
㉛	E'
㉜	F'
㉝	G'
㉞	H'
㉟	I'
㊱	J'
㊲	K'
㊳	L'
㊴	M'
㊵	N'
㊶	O'
㊷	P'
㊸	Q'
㊹	R'
㊺	S'
㊻	T'
㊼	U'
㊽	V'
㊾	W'
㊿	X'

目標地図

㉟	Y'
㊱	Z'
㊲	A''
㊳	B''
㊴	C''
㊵	D''
㊶	E''
㊷	F''
㊸	G''
㊹	H''
㊺	I''
㊻	J''





耕作者（石応白浜）

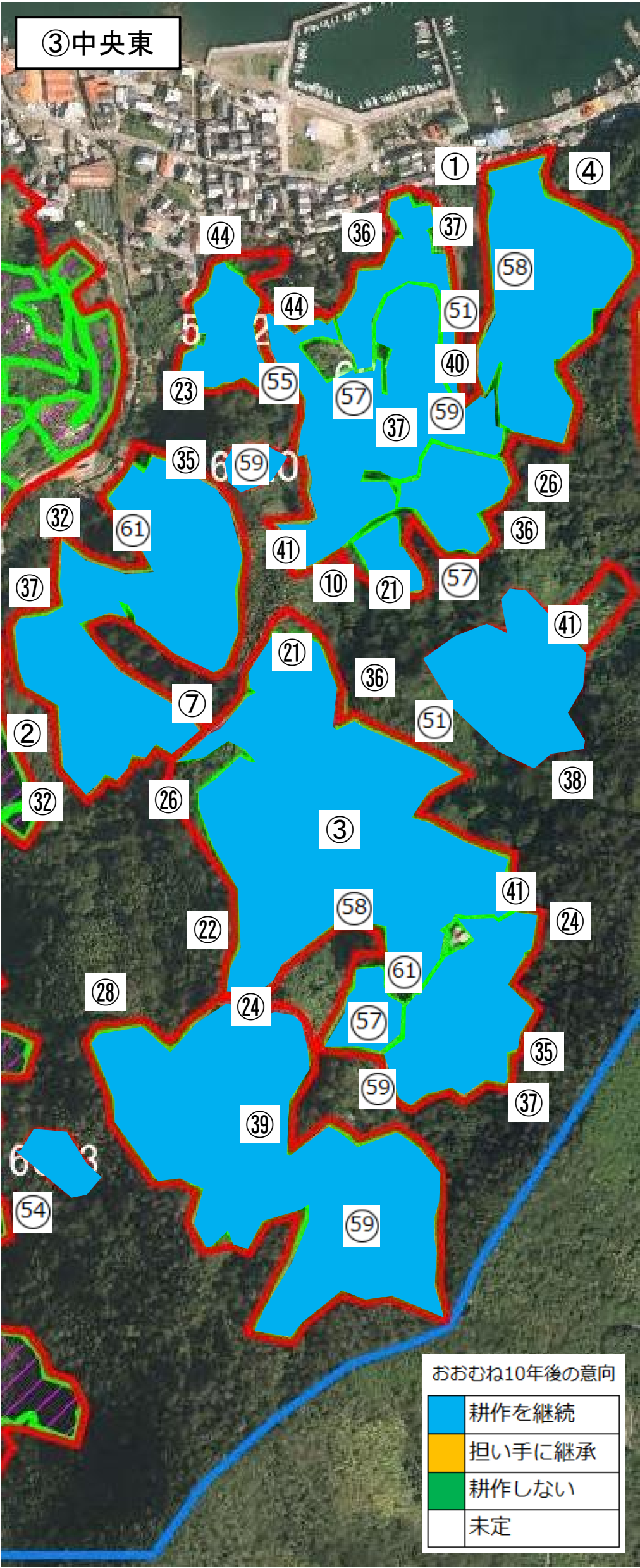
No.	氏 名
①	A
②	B
③	C
④	D
⑤	E
⑥	F
⑦	G
⑧	H
⑨	I
⑩	J
⑪	K
⑫	L
⑬	M
⑭	N
⑮	O
⑯	P
⑰	Q
⑱	R
⑲	S
⑳	T
㉑	U
㉒	V
㉓	W
㉔	X
㉕	Y
㉖	Z
㉗	A'
㉘	B'
㉙	C'
㉚	D'
㉛	E'
㉜	F'
㉝	G'
㉞	H'
㉟	I'
㊱	J'
㊲	K'
㊳	L'
㊴	M'
㊵	N'
㊶	O'
㊷	P'
㊸	Q'
㊹	R'
㊺	S'
㊻	T'
㊼	U'
㊽	V'
㊾	W'
㊿	X'
㉟	Y'
㊱	Z'
㊲	A''
㊳	B''
㊴	C''
㊵	D''
㊶	E''
㊷	F''
㊸	G''
㊹	H''
㊺	I''
㊻	J''

目標地図

おおむね10年後の意向

	耕作を継続
	担い手に継承
	耕作しない
	未定





耕作者（石応白浜）

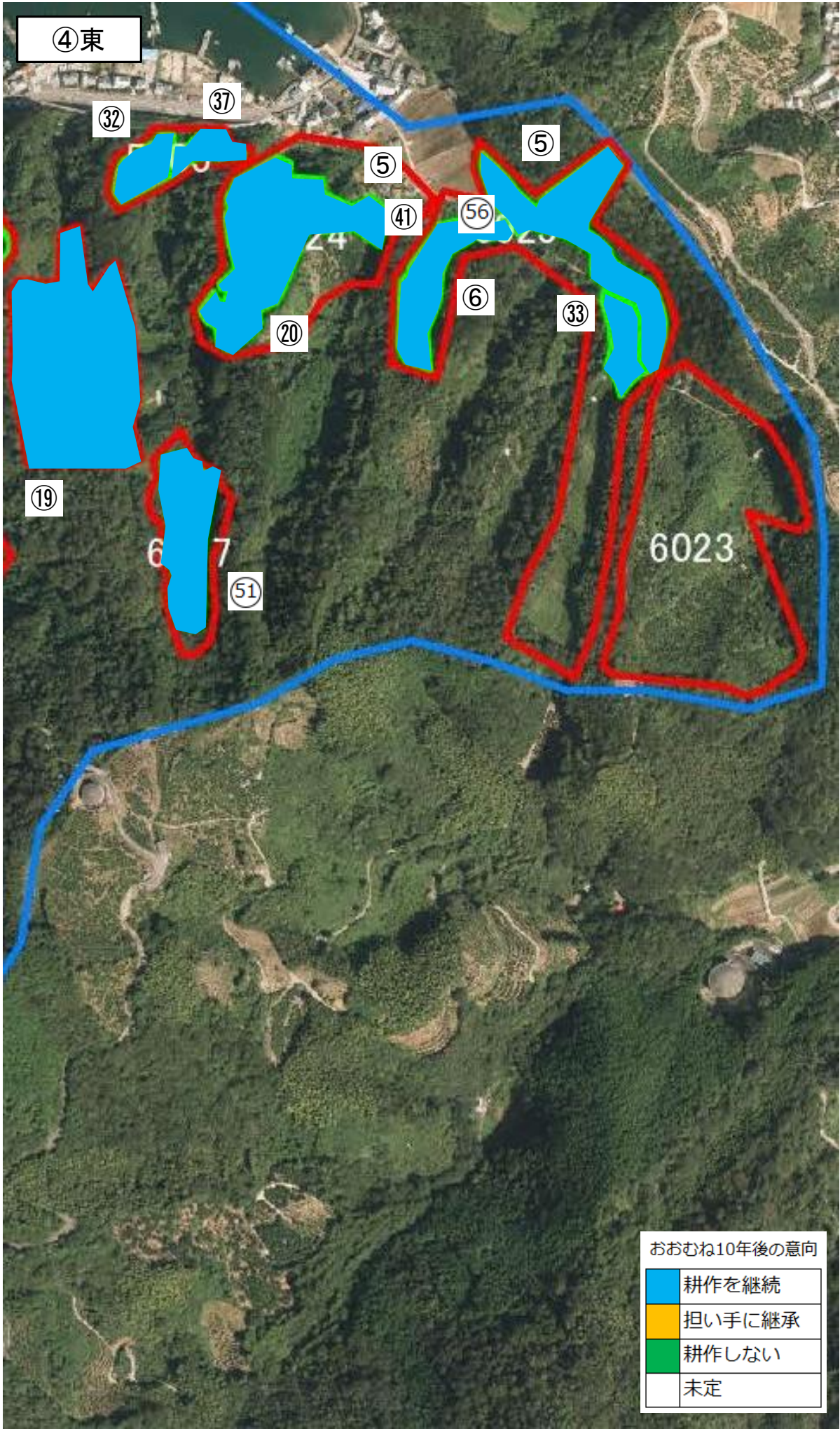
No.	氏 名
①	A
②	B
③	C
④	D
⑤	E
⑥	F
⑦	G
⑧	H
⑨	I
⑩	J
⑪	K
⑫	L
⑬	M
⑭	N
⑮	O
⑯	P
⑰	Q
⑱	R
⑲	S
⑳	T
㉑	U
㉒	V
㉓	W
㉔	X
㉕	Y

㉖	Z
㉗	A'
㉘	B'
㉙	C'
㉚	D'
㉛	E'
㉜	F'
㉝	G'
㉞	H'
㉟	I'
㊱	J'
㊲	K'
㊳	L'
㊴	M'
㊵	N'
㊶	O'
㊷	P'
㊸	Q'
㊹	R'
㊺	S'
㊻	T'
㊼	U'
㊽	V'
㊾	W'
㊿	X'

目標地図

㉟	Y'
㊱	Z'
㊲	A''
㊳	B''
㊴	C''
㊵	D''
㊶	E''
㊷	F''
㊸	G''
㊹	H''
㊺	I''
㊻	J''





耕作者（石応白浜）

No.	氏 名
①	A
②	B
③	C
④	D
⑤	E
⑥	F
⑦	G
⑧	H
⑨	I
⑩	J
⑪	K
⑫	L
⑬	M
⑭	N
⑮	O
⑯	P
⑰	Q
⑱	R
⑲	S
⑳	T
㉑	U
㉒	V
㉓	W
㉔	X
㉕	Y

㉖	Z
㉗	A'
㉘	B'
㉙	C'
㉚	D'
㉛	E'
㉜	F'
㉝	G'
㉞	H'
㉟	I'
㊱	J'
㊲	K'
㊳	L'
㊴	M'
㊵	N'
㊶	O'
㊷	P'
㊸	Q'
㊹	R'
㊺	S'
㊻	T'
㊼	U'
㊽	V'
㊾	W'
㊿	X'

目標地図

⑤1	Y'
⑤2	Z'
⑤3	A''
⑤4	B''
⑤5	C''
⑤6	D''
⑤7	E''
⑤8	F''
⑤9	G''
⑥0	H''
⑥1	I''
⑥2	J''